

# EY VIA内部監査クラウドサービスご案内

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

## 次世代の内部監査に向けた準備は万全ですか？

企業活動は日々変化の激しい環境にさらされ、対処すべきリスクはめまぐるしく変化しています。こうした状況において、内部監査部門に求められる役割も変化しています。これまでの事後事象に対するエラーの発見やアシュアランス機能から変革し、リスクをリアルタイムでモニタリングし、リスクの高い分野をスピーディに監査する機能が必要です。これにより、内部監査は経営者のアドバイザーとして、意思決定に役立つ情報を提供し、企業価値の増幅に貢献することができます。

EY VIAはこうした次世代の内部監査をサポートするために、EYが独自に開発した内部監査クラウドサービスです。EYストラテジー・アンド・コンサルティングでは、EY VIAの導入をサポートし、付加価値の高い内部監査エコシステムの構築を支援します。

## EY VIA (Virtual Internal Auditor) とは？

一般の内部監査ツールの主な機能は、内部監査の実施や、レポートイング、指摘事項改善状況のモニタリングをサポートするものです。EY VIAは、そうした一般的な機能を備えていることはもちろん、リスクモニタリング機能を備えていることが特色です。これにより、リアルタイムにリスクをモニタリングし、その結果をもとにハイリスクエリアに特化した内部監査を実施することができます。







## EY VIA

リスクモニタリング機能\*を備えた  
内部監査クラウドサービス

- ▶ ERPシステムからの直接データ取り込み・自動分析 → 継続的リスクアセスメント
- ▶ ライブラリーに標準RCM・監査手続書の登録 → リスクベースによる監査手続書の効率的な作成
- ▶ 監査手続きと結果をひも付けて登録 → 監査調書の一元管理
- ▶ 監査の進捗状況、発見事項のリスクや根本原因、改善状況が可視化 → 容易な管理・分析
- ▶ 被監査組織との資料授受・やり取り履歴を記録 → 監査調書へのひも付け、効率的な管理
- ▶ インプットした監査結果の自動反映 → 効果的な監査報告書の作成

\*日本においてリスクモニタリング機能は今後導入予定

## EY VIAのモジュール構成

1	 eRACM	標準監査手続書となるリスクコントロールマトリックスのライブラリー
2	 Audit and SOX Manager	内部監査とSOXプロジェクトの管理
3	 Reporting	複数の報告テンプレートを用いた自動レポート機能
4	 Issue Tracker	発見事項・不備事項の分析
5	 Inquiries	被監査部署とのやり取り
6	 Risk Monitoring	データ分析による継続的モニタリング

  
**EY**  
Building a better  
working world

## EY VIAの導入による内部監査のビジュアル化

リスクモニタリング結果や内部監査報告書はインプットされたデータを元に自動で作成されます。リスクアセスメント結果、指摘事項一覧、フォローアップ状況一覧をリアルタイムで把握するための多彩なダッシュボードや、監査結果を適切にコミュニケーションするためのビジュアル化された監査報告書や総括報告書が利用できます。



## EY VIAの強み

EY VIAは内部監査の専門家であるEYが独自に開発した内部監査クラウドサービスです。豊富なRCMなどの独自コンテンツを搭載し、内部監査実務とシステム双方を理解したEYのコンサルタントによるクライアントの実務に合わせた導入支援が可能です。

EYの知見	豊富なコンテンツ	内部監査の専門家による導入支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ EY VIAは内部監査のメソドロジー開発やフレームワーク構築に関する豊富な知見を有するEYが開発した内部監査クラウドサービスです。</li> <li>▶ クライアントの要望やEYのノウハウをもとに、バージョンアップやエンハンスメントを常に実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 500超のリスク、800超の監査手続きを網羅するグローバルのRCM（リスクコントロールマトリックス）を標準コンテンツとして搭載し、標準監査手続策定の際の参考として利用できます。</li> </ul> <p>※リスクおよび監査手続き数は2023年8月現在のものです。今後変更の可能性がります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 内部監査実務を理解したEYのコンサルタントがクライアントの内部監査プロセスや成熟度に合わせた導入支援を行います。</li> <li>▶ 内部監査コース・アウトソース支援と併せての導入も可能です。</li> </ul>

お問い合わせ先	EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 担当 EY VIAチーム Email: <a href="mailto:eyvia.info@jp.ey.com">eyvia.info@jp.ey.com</a> Office: 03 3503 3500 (代表) URL: <a href="http://ey.com/ja_jp">ey.com/ja_jp</a> 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー
---------	---

## EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world (より良い社会の構築を目指して)」をパーパスとしています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起 (better question) をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、[ey.com/privacy](http://ey.com/privacy)をご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、[ey.com](http://ey.com)をご覧ください。

EYのコンサルティングサービスについて

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え (humans@center)、迅速にテクノロジーを実用化し (technology@speed)、大規模にイノベーションを推進 (innovation@scale)、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとっての長期的価値を創造していきます。詳しくは[ey.com/ja\\_jp/consulting](http://ey.com/ja_jp/consulting)をご覧ください。

© 2023 EY Strategy and Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.  
 ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを伴うものではありません。EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

[ey.com/ja\\_jp](http://ey.com/ja_jp)